

No.13

1990年

(平成2年)

同窓会だより

— 発行 —

旭川荘厚生専門学院同窓会

岡山市祇園地先

TEL (0862) 75-0145

— 編集責任者 —

同窓会会長 堀内 絹江

新たな節目を迎えて

同窓会会長 堀内 絹江

猛暑に堪えた樹々は、やがて迎える厳しい冬の準備にも怠らないようです。母校を包んでいる緑は一層あざやかで、私達に語りかけてくれているようです。集いましょう。伸びゆく学びの下に……と。

平成二年度は、福祉科第一期卒業生を新しく迎へ入れると同時に、学院では福祉情報科が新設され、これからは同窓会といたしましても、益々心強い限りであります。



近況報告などありますが、多くの方々に応援して頂き、学院創立二十周年を目前にして、同窓会も一つの節目に来たわけです。十一月三日の総会には一人でも多くの方が出席して下さい。皆様様の御意見を是非お寄せ頂きたいと念願いたします。

平成二年度 同窓会総会 — 御案内 —

◆日時 十一月三日(土) 十一時~十二時
◆場所 母校図書館(第2号館)
※ 同期の方や、同じ職場の方をお誘い合わせて奮って多数御出席下さい。

岡山支部より

岡山支部長 西野 順子
今年の夏は例年になく猛暑の連続でしたが、漸く涼しい季節となりました。皆様いかがお過ごしですか。岡山支部結成以来、早一年六ヶ月たち安堵しておりますが、そろそろ十一月の同窓会総会、年明けて支部会が近づいて参りました。

つきましては、十一月の総会の後役員会を致したいと考えておりますので、係の方御足労ですが宜しくお願い致します。

これから先、母校創立二十周年行事を初めとして様々な行事が予定されていくと思っております。皆様からの御要望などございましたら、母校の同窓会事務局(田中)まで御連絡下さいませ。お待ちしております。

同窓会役員 本部役員

会長	堀内 絹江
副会長	守屋 礼子・藤 繁子 小林 十四恵
幹事	西野 順子・今谷 功子
監事	猪原 正子・関谷 由紀恵
会計	山本 基子・羽井 佐米子
書記	杉山 新子・田中 睦子

同窓会員の住所異動について

事務局長からのお断り
年一回の同窓会だよりを会員全員にお届けすべく努力していますが、住所不明や移転先不明のため、会員のお手元に届かない場合が相当ある現状であります。

昨年の場合、一九七七通発送いたしましたところがこの内から約一五〇通が移転先不明で返って参りました。

本年は住所不明、昨年の返送分を除いて二〇七一通発送いたしましたこれは全卒業生数に対して七九・七%に当たります。

それで事務局としてお願いしたいのは、会員で異動がありました場合は、ハガキ一本で結構です同窓会事務局へ御一報下さい。でないとい後ずっとお送り不可能となります。会員との連絡が断絶しないことを切にお願いいたしております。

会員数

平成2年3月現在

卒業生 総数	2,599名
保育科	696名
福祉科	50名
看護科 第1	767名
看護科 第2	1,086名

第19回学院祭御案内

◆日時 十一月二日(金)~三日(土)

※ 同窓会総会出席を兼ねて母校をお訪ね下さい。

学院だより

昭和46年4月に開学した学院は、明年は満二十周年の記念の年を迎えることとなります。種々の記念事業が計画されることと思います。

設置学科も二学科(定員二〇〇名)で出発したのが、現在は五学科(定員六〇〇名)と発展しました。本年度の学院の動向の一端をお知らせいたします。

◎ 修学旅行

保育、福祉、第1看護科の二年生と第2看護科一年生が沖繩、北海道南部、関東、四国の四班に分かれ9月5日出発、それぞれ社会福祉施設、病院見学などを実施した。また9月21日から三泊四日の日程で行われた福祉の翼訪中旅行団に約二〇名の学生が参加しました。

◎ キャンドルサービス

保育、福祉、福祉情報科一年生10月19日 学院講堂

◎ 戴帽式

看護科一年生 10月23日 学院講堂

◎ 卒業演奏会

保育科二年生 2月26日 県総合福祉会館

学院の主な沿革

46. 4. 1	認可	龍川	院長	安二
47. 4. 1	開学	草野	院長	安二
48. 4. 1	第2代	江草	院長	安二
49. 4. 1	第3代	江草	院長	安二
50. 3. 18	第4代	江草	院長	安二
51. 4. 1	第5代	江草	院長	安二
53. 11. 7	第1回	足利	創立	記念式
55. 4. 1	第1回	足利	創立	記念式
56. 5. 17	第1回	足利	創立	記念式
61. 4. 4	第5代	坂本	院長	安二
63. 4. 1	第5代	坂本	院長	安二
元 2. 4	第5代	坂本	院長	安二

◎ 介護福祉士受験講習会

昨年1月に第一回国家試験が実施され、今後受験する人のための受験講習会(三日間)を7月から11月にかけて四回開催し、多数の現場の方が受講されました。

◎ 音楽講習会(第15回)

器楽、歌唱、音楽常識の初歩や、より向上を目指す方のため進度に応じた個人指導を行い、好評です。(8月1/3日)

◎ ボランティアアスタール(第6回)

奉仕する優しい心とその実践に役立つ知識、技術を学び旭川荘内の諸施設で実習を体験し、お互いの交流も深まり毎年多数の参加があります。(8月6/8日)

◎ 情報処理講習会(第一回目)

初心者パソコン、ワープロの基礎知識とこれらを有効に操作し活用できるような技術を習得させます。(8月21/24日)

人事異動について

- 退任の先生
 - 保育科長 鴨野元一先生
 - 福祉科 古沢恒子先生
 - 看護科 河田幸子先生
 - 教務課 藤川みどり先生
 - 学生課 周藤律子先生
 - 書記 新野由太郎先生
- 新任の先生
 - 副学院長・保育科長 民実 政枝先生
 - 福祉科長 逸見 安子先生
 - 福祉情報科 松本 定先生
 - 看護科 池本 佐枝先生
 - 学生課 三浦 都子先生
 - 稲生 あゆみ先生

学院に 新設学科 開設

昭和63年4月から介護福祉士を養成する「福祉科」が新設され、本年3月その第一期卒業生五〇名が社会に巣立って行きました。

これに続いて、平成2年度から、福祉・医療実務スペシャリストの養成を目的とした「福祉情報科」(定員三〇名)が発足しました。



第一期生は、年度途中の認可、学生募集だったため定員に達しませんでした。将来はこの面は段々に重視され入学希望者も増加するものと予想されます。

取得資格は、在学中に情報処理能力認定試験、ワープロ技能検定試験、医療秘書技能検定試験などの合格を目差します。

平成2年度在学学生数

科	学年			合計
	1年	2年	3年	
保育科	37	49		86
福祉科	52	37		89
福祉情報科	11			11
第1看護科	88	89	80	257
第2看護科	56	58		114
小計	244	233	80	557

平成2年度府県別在学学生

出身県	府県																	計						
	岡山	広島	山口	鳥取	島根	香川	愛媛	徳島	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	兵庫		大阪	滋賀	奈良	岐阜	石川	千葉
学生数	292	80	31	10	20	10	16	3	7	3	9	10	12	2	7	2	33	3	2	1	2	1	1	557
出身校数	73	43	22	7	15	9	11	3	7	2	7	9	11	2	5	2	24	3	1	1	2	1	1	261

(23府県、261校、557名の学生が在学しております)

おたより

保育科

保育科 大原 愛子 (鳥根県 第3期生(旧姓 平岡) 大田市)

みなさん御無沙汰していますが、お変わりありませんか。私は鳥根に嫁ぎ七年を迎えようとしています。ただ今子育て真最中で、三才と一才の女の子の母親としてがんばっております。この四月から上の子を保育園に通わしていますが、近所に子どもがいないので大変喜んでいきます。子どもは、子どもの中で成長していくものだと思っております。園全体で十八名、年少のりす組は四名で少人数ですが家庭的な所もあり子どもたちのびのびとして通われて良かったと思っております。保育士として勤めていたこともありましたが、自分の子どもを育ててみて、子育ての大変さがよくわかりました。また近いうちに、みな様に会える日を楽しみにしています。

保育科 矢吹 敦子 (福山市) 第3期生(旧姓 佐原)

保育科三期生の皆さん、お元氣でお過ごしでしょうか。この度原橋依頼にあたって、私内の近況を三期生の皆さんにお知らせしたいので、とても嬉しく思います。皆さんも子育てにまっ最中のことと察しますが、私内は、優しい主人、小四と幼稚園の二人の息子に囲まれ、幸福に暮らしております。行事に参加したり、パーティの事務、時々マナーキーやケーキを焼いたり忙がしくしています。もう少し子供の手が離れて、協力が得られれば、施設での再就職を切実に考えています。

年齢等難しい面もありますが、保育の仕事を持ってられずにいます。現在お仕事を続けられておられる皆さん頑張ってください。

最後になりましたが先生方、皆様方のご健康を心よりお祈り申し上げます。

保育科 片山 愛子 (総社市)
第5期生 (旧姓 堀並)

竹井ちゃん/お元気ですか？ 今日、仕事から帰宅し、ポストをのぞくと、この原稿の依頼書でした。夕食後葉書を目前に何書こうかなあと考えこむうち、同窓生の名前を連ねてみることを思いつきました。

たった二十三人、たった二十三人だったのに卒業して十三年、皆なが、どこでどんな生活をしているか、はももちろん知りません。名前(旧姓)は、はたしてすぐ思い出せるかな？

「残念、さつとは出てこないのです。それほどの間はいらなかつたけど二十三人目が、あなた竹井ちゃんでした。ごめんね。外国に行ったり、自分の人生を前向きに歩いているという情報は知っていますから許してネ。」

と、相愛ならず、つまらない便りですみませんが、おーい、保育科五期生のみんな元気でしてるかな。仲々同窓会の話がまとまらず実現しませんネ。前々回の「同窓会便り」を読んでも私に何の連絡も下さらなかつたあなた/のせいじゃあ/このたびは、この手でいこう。十一月三日(出)PM三〇〇岡山駅桃太郎前集合!!夫、子連れ大歓迎!!今から予定を決めておこうぜ/ちなみに私んち〇〇八六六九〇六三五九デス/それでは、みなさんお元気で。お会いできる事業しみにしています。

保育科 瀬戸二三子 (勝田郡 奈義町)
第5期生

気がついてみれば、もう三十三歳ノいえまだ三十三歳ノ、私の、現在は津山市内の某精薄施設で働いております。いつも明るく元気にと思いがら公私ともにストレスの多い日々です。ところで私と同じくまだ運命の人にめぐり逢っていませんか？ 生々かに夢中になっていませんか？ 刺激のない田舎暮らしの身とはいえ私もほんやりしてはいられませんか。やさしさ、素直さ、そして大らかさETC。沢山の栄養を吸収しながら自信をもった大人になり、生活を楽しくしていけたらと思います。

保育科 赤木 京子 (岡山市)
第6期生 (旧姓 在本)

保育科六期生の皆さん、学院の先生方、皆さんお元気でしょうか。旭川荘内(みどり学園)へ就職して二年目になります。実習生の方々が来られると、私連もあの頃があったなあと学院時代が思い出されます。早出・遅出のバイトをして学校へ行ってた頃が、ほんとうに懐かしいです。病気がちだった私も、今では喘息もどこかへ行ったらしく毎日忙しいながらも楽しく充実した日々を過ごしています。子ども達は元気一杯で、最近リズム体操と一緒にすると後半は息切れがすることもありますが、そろそろ年だなあと思うこともありまます。健康第一を目標にがんばっています。今年度中に同窓会を開きたいと思っています。よろしく。

保育科 土屋 教子 (岡山市)
第7期生 (旧姓 石崎)

今年の夏は例年になく猛暑が続いています。みなさんいかがお過ごしでしょうか。私たち同期も三十才を突破し、オパタリアンの仲間入りかな？と思う今日この頃です。私の方は本年一月より児童院に新設された重症児(者)の通園施設(モデル事

業)に移動になり新たな気持ちでやっています。スタートしたばかりですべてが手探りといった状態ですが、自分を一歩成長させていたただけるいい機会ととらえて頑張っています。

しかし、就職して十年が経ちますが、年数だけが経ち知識・技術の未熟さを改めて感じ反省させられています。一方、本年は介護福祉士の国家試験に挑戦し無事合格することができました。家庭においては男の子二人の母、仕事よりも疲れることもありまます。とにかく、どれも100%とまではこなせませんが、持前のバイタリティーで元氣、たくましく、明るく、そしてマイペースで頑張っています。以上、私の近況報告です。みなさん三十代をオパタリアンにならず、楽しくエンジョイしましょう。(また同窓会を開きましょう)

保育科 田中 夕美 (広島県 沼隈町)
第8期生 (旧姓 明石)

学院の諸先生方、五十五年慶卒業の皆様、その後もお変わりなく元気でいらっしやいますか？ 就職の時に御世話になった鴨野先生が学院から荘内施設の寮長として移動されたとお伺いしました。あのやさしい(?)顔の下にかくされたバイタリティーあふれる先生、御活躍される先生のお姿が目につかぶようです。私は、四月から同じ法人ではあるのですが、児童施設から通園勤務となり、まだまだきびしい福祉の現状に、どのようにすれば障害児・者ひとりひとりが同じ生活者として、保障されるのか一と考えさせられています。旦那一人、子供六才と四才、私三十才の夏を迎えながらも、まだまだ新人の域から脱出できず、現場でがんばっています。尚、現在の住んでいる沼隈郡沼隈町は、常石造船という造船の町で、最近リゾートホテルを入れています。ぜひ「みろくの里」や「境ヶ浜マリナーパーク」の名

をたずねて一度おいで下さい。山あり海あり楽しいですよ。

(勤) 社会福祉法人セノ少年牧場 (〇八四九) 八七〇七〇〇

保育科 佐藤 京子 (岡山市)
第9期生 (旧姓 三船)

学院の先生方、九期生の皆さんお元気ですか？

私は今、妊娠中で腰痛に耐えながら主婦業をがんばっています。旭川学園に六年勤め、結婚して一年は働きましたが、妊娠を機に退職しました。しばらくして一才半だった長女を連れて産休代替の保母として保育園に勤務しました。行事のため夜遅くなることもあって子供には悪かったなと反省もしましたが、よい勉強になりました。数カ月後に勤めた近くの託児所は、妊娠したため数カ月でやめ、今は専業主婦です。なかなかできなかった二人めが病院通いの末やっとでき、今年三才になる娘と「次は絶対男だ」と願っている主人と心待ちにしている毎日です。では又、お会いできる日を楽しみにしています。

保育科 原谷 充子 (赤磐郡 山陽町)
第10期生 (旧姓 谷川)

「同窓会だより」を手にするたびに学院時代の事が懐しく思い出されます。私は、毎日生活に追われ、あつという間に時が過ぎていくのが現状です。それで子供とのふれあいの時間は大切にしていきたいと願っています。夕方、息子をベビーカーに乗せ保育園に娘を迎えに行きます。家に帰るまでの道のり、娘は保育園であった事を教えてくれたり、つばめやトンボになって私達のまわりをうたいながら走っていきます。私はこのひとときが、とっても大好きで大切にしている時間です。今はまだ一方的なおしゃべりや断片的なおしゃべりの娘と私の会話ですが、月日

とともに、いろんな話を話すことでしょ。そして、そのなかに父・弟も加わり...

いつまでも親子の会話を大切に、楽しい家庭を築いていきたいと願っています。

保育科 園服 尚美 (兵庫県 日高町)
第11期生 (旧姓 大森)

早いもので学院を卒業してから七年の月日が過ぎようとしています。何があっても仕事は辞めないと心に誓った私でしたが、結婚という理由で岡山を離れることになり、たったの五年間しか福祉施設に勤めることができませんでした。今は北は城崎温泉、日本海、西は神鍋高原、ハチ高原、湯村温泉という大自然の中で、保育園の保母として悪戦苦闘の毎日です。〇歳児から四歳児までの子供たち七〇名がおり、施設職員であった時とはまた違った経験、勉強をたくさんしています。知らない土地に住み、また一からのスタートでしたが負けるものかと、どんなことに対しても自分から飛び込んでいくことをモットーにして、明るく、元気に生きていくよう努力しています。皆様もお元気でお仕事、育児にお励み下さい。

保育科 井上 孝江 (滋賀県 甲賀町)
第12期生 (旧姓 伊賀)

みなさんお元気ですか。いつも先輩・後輩そして同期の方々の活やくを楽しく読ませていただいて、岡山(旭川荘)をなつかしく思っています。私は、というと遊覧に来て早八年め。気がつけば一緒に就職した人は、とっくの昔に学園を去り今では私より後に就職した人たちも、ほとんどやめていってしま、病棟の中でも、すっかり古手の職員仲間入りをしてしまいました。といつも私も今までに何度かやめてしまおうかなと思いつながらも、園生はかわい

いしというところで、こんなにも長くつとめられたような気がします。ただ、重んじられたので、いつまで体力が続くかなという不安もありますが、若い人たちの意見も参考にしながら自分なりに頑張ってみようと思っております。また滋賀県の方にお越しの際は、ぜひ足を伸ばしてみたいです。みな様のご活躍をお祈りしています。

保育科

- 第11期生 松尾 敦子
- 第12期生 安田かおり (倉敷市)
- 第13期生 野口 博世
- 第16期生 富士川千恵

皆さん元気で御活躍の事と思います。特別養護老人ホームですみ荘では、学院卒業生四名、元気に老人のお世話をさせて頂いています。何年前にも四名でお便りさせて頂きましたが、一人入れ代り、残り三名は今だチャリアがフルでがんばっています。中堅と言われながらも、まだまだ学び続けている毎日です。今でも学院時代と変っていないと思っております。私達だけでしょうか。今年からは、某大学の介護福祉士の実習を受け入れており、学院時代の実習を思い出して思えば花を咲かせておられます。何年後かに、同じ名前でお便りしたい様がんばりたいと思います。

- 保育科 亀川 孝江 (浅口郡鴨方町)

学院の先生方、そして第十四期生のみなさんお元気ですか？ほほえみ授産センターで「先生」と呼ばれるようになってはや五年目！あつという間の月日の流れにおどろいています。職員九名、所生三十名のちいさな施設ですが、みんな仲良く頑張っています。ところで、同期の方の結婚、出席

の話を次々と耳にしますが、私にはピンとこなくて困っています。みんなすっかりいい奥様、お母さんなんだろうな！と思いつつ、「今のうちだ！」と南へ北へと走りまわっています。七月には北アルプス穂高岳の縦走に挑戦し、三六〇度の展望に感激!! 公私共に充実している今日この頃です。

- 保育科 竹中 歩 (邑久郡長船町)

学院を卒業して早いもので三年余りが経ちました。同窓生の皆様には、いかがお過ごしでしょうか。私の方は卒業後、荘内の児童院に就職、四年目を迎えました。社会人になって自分の考えの甘さ、未熟さと共に勉強不足を痛感しながらも、月日はどんどん過ぎ、四年目となった現在、急に中堅職員としての責任を与えられはじめ、戸惑いは隠しきれません。入所者のタイプはさまざまです。ストレートに思いをぶつけてくる人、働きかけに反応を見せにくる人、殆んど反応のない人、彼ら皆生き生きとしています。彼らの思いを少しでもみとって、彼ららしく生きていけるよう陰ながら援助していきたいと思っております。私自身、外見は殆んど変わっておりませんが、学生時代以上に言いたいことを言う、出来る日を期待しております。

- 保育科 有友 直子 (香川県土庄町)

先生方、十六期生のみなさんお元気ですか？学院を卒業し、香川県乳児院で働かだして二年四月が過ぎようとしています。今でも失敗が多いですが、職場の人に助けをもらいながら子供達一人一人の成長を喜びにがんばっています。つらい事があっても子供達の顔を見ると忘れさせてくれたり、やわらげてく

れます。みなさんも、それぞれの場所ががんばっておられるのでしょね。いつまでかはわかりませんが子供達から色々学びながら、自分に出る事を一つでも多くしてあげたいと思っています。また会える日を楽しみにしています。

- 保育科 赤木 郁絵 (倉敷市)

保育科十七期生のみなさんお元気ですか？早いもので卒業してもう一年が過ぎてしまいました。私はとても元気でです。

旭川学園に就職し、昨年に引き続き重度の女の子のクラスの担任しながら毎日がんばっています。一年目は無我夢中で過ぎ、二年目には少しづつ慣れてきたかなあと感じる今日この頃です。しかし失敗も多く後悔の連続ですが、子供達の笑顔に励まされながらがんばっています。子供達と散歩しながら学院の前や友達の下宿だった所の横を通ったりすると、ふっとあの頃のことを懐かしく思い出されます。みなさんの懐かしい顔に、また会いたいです。最後に先生方とみなさんのご健康をお祈りしています。

- 保育科 井上久美子 (倉敷市)

学院の諸先生方、同期生の皆様お元気でお過ごしでしょうか。私は水島の夜間保育園で三十名の子ども達と楽しく過ごしています。日々の保育、父兄との対応、親子行事などで忙しさに追われる毎日ですが、年長児が年少児の手を引き、「たたいま」と夜間保育園に帰ってくる姿、保育室に入り、緊張のときを瞬間に夜間保育のあり方を考えさせられます。子ども達にとって少しでも居心地の良い場所にしていきたいと頑張っております。それでは、皆様の御健康と御活躍を心よりお祈りしております。

- 保育科 小原 悦子 (倉敷市)

学院を卒業された皆様いかがお過ごしでしょうか。

保育という職について四ヶ月がすぎました。未熟なまま学院を卒業した私は、今一才児を担当しています。毎日いたずらな子供たちと一緒に生活していますが、今の私には、がむしゃらにやる以外はないと思いがんばっています。学院の講義の中で、ちよっとしたアイデアが思いもつかない所で役に立ったり、子どもたちと仲良くなるきっかけになったりと感謝しています。大変な仕事についてとは思っていません。今までのことのない病気をしたり、無理をしたり、それでも優しい先生方、同僚にかまわれて楽しくすごしています。くじけることなく、これから先も保育士としてがんばっていききたいと思っています。

福祉科

- 福祉科 葛原かな江 (都窪郡早島町)

蒸し暑い日が続いておりますが皆様お元気でお過ごしでしょうか。早いもので私が特別養護老人ホーム若宮園の寮母となつて四ヶ月を過ぎようとしています。初めの一ヶ月間は関連する医療施設の見学や園内での新人研修があり忙しい日が続きましたが、最近では、やっと入所者の方の細かなところまでも把握出来るようになりまし。寮母といつても梅割の処置などかなり医療的な部分や夜勤中では、ほとんど寮母二人だけで対応しなければならぬという責任もあり学生の頃考えていたよりも

大変なことも多いですが、それもまた一つの自信となり身についています。職員間の人間関係も良く楽しく仕事をさせていただいています。

- 福祉科 野吹 幸代 (倉敷市)

私が勤める老人保健施設は、学院福祉科の第一期卒業生が六人と最も多く就職した所です。私達と同期に介護士として就職したのは私達を含め十二名、全員同年代の人ばかりでにぎやかなスタートでした。

老人保健施設とは、急性期を乗り越え病状の安定した人達が自立を確立して家庭に戻れる様、工夫された施設であり、ここで過ごされる老人の多くが家庭復帰を望まれ、リハビリなどに意欲を燃やしています。反面、依存心が多く、タオル一つ落ちても私達の手を貸る老人もいます。これらの人達の介助をどこまでするか、どの程度手伝えればいいのか、新しい老人が来る度に、病状が変わる度に考え悩んでいます。

仕事に慣れてきた今、痛切に感じるのは、職員数の絶対的な不足です。就職当時は三十名を越える人数だった職員も体調不良など諸々の事情で退職される方も多く、かといって主婦の副業には、あまりにも重労働過ぎて、すぐのすぐ補える人員もなくと思ふ環の繰り返しです。早く専門教育を受けたすばらしいスタッフがより多く巣立つことを期待しています。

第1看護科

- 第1看護科 林 優子 (岡山市)
- 第1期生 (旧姓 小坂)

私は昨年(エキスパートナース主

（催で）ハワイ研修にいくチャンスに恵まれ、全国の三十名のナースとともに貴重な体験をしました。最新設備のタインズメディカルセンターの見学、現地ナースとの交流パーティー、意欲的な助産士さんとの出会い、又、レジスターナースめざし勉強されているナースも多いようです。特訓していった英会話は、よい通訳さんに恵まれ、頼ってしまいました。が、今後もこのようなチャンスがあれば、どんどん参加したいです。仕事の方は十年めですが、同期生四人ががんばっています。病棟もかわり心機一転、長女も来年少学生だし、実りある三十代にしたいと思っています。

第1看護科 藤原 尚美 (赤磐郡)
第1期生 (旧姓 牧野) 熊山町
 早いもので卒業して十年になりました。結婚して八年です。子供も七才と五才になりました。看護婦として仕事をしたのは三年間だけでした。そろそろ又、職場に復帰しようと思っています。でも七年間のブランクは、そう簡単にもどりそうもありません。少々不安もありますが、がんばるつもりです。

今は、役場の方からたのまれて時々ですが予防注射や検診の手伝いをしています。
OP室でバリバリ仕事していた時の事を思い出します。

第1看護科 下田 邦子 (千葉県)
第3期生 (旧姓 中山) 松戸市
 皆様お元気でお過ごしでしょうか。卒業後、六年間臨床で働いたのち神様に導かれて今は千葉に結婚して暮らしています。主人は同じクリスチャンで同じ職業、今は手術室で勤務しています。私はパート、でももう止めます。結婚して一年、今おなかの中に赤ちゃんを与えられて来年の三月に生まれる予定です。二人で本の胎児の造られていく様の鮮明な

写真をみながら、今はこのくらいかしらと想像し、改めて神様の御手のなさるあまりにもくすくすすばらしいこととおぼえて敬慕な思いで、感謝と心ひきしまるような思いで毎日過ごしています。自分のおなかの中にいる子に現実的には私自身は指一本この目でさえも触れることもできません。でも、いとおしい小さな命は確かに日々おそろしいほどの正確さで神様にかたち造られています。ただ今は私のいのちの上に、赤ちゃんのいのちも神様におゆだねし、祈るばかりです。まかされた命を育てていく責任の重さも思っています。またこれも祈りつつ時になかった愛と知恵と調成と助けをいただきつつ歩もうと思っています。皆様の上にも神様の祝福が豊かにありますように。千葉においでの際は、是非お立ち寄り下さい。

第1看護科 三浦 都子 (倉敷市)
第3期生 (旧姓 大塚)

第一看護科三期生の皆様お元気でしょうか。今、学院は第一看護科は十三期生、第二看護科は二十期生が戴帽式をむかえようとしています。私は、看護婦・保健婦・主婦(?)を経て、今年三月より専任教員として学院に帰ってきております。学生時代を懐しく思うでしょうか。実習記録(目的・計画)・症例研究が書いていない夢でうなされ、目覚めることもたびたびあります。しかし三歳(女)と一歳(男)の子供の笑顔と主人の協力で支えられ、自分なりに納得のいく人生(大袈裟?)が歩めているように思えます。きっと皆様の家庭も同じだろうと思いつつ再会できる機会を楽しみにしております。

六年の月日、考えてみると長いのですが、過ぎてしまえば早く感じています。今年は仕事の中で、私にとっても貴重な一年のように思っています。四月からは、臨床指導者」と言う役割をもち、七月には研究発表、一日二十四時間がとても早く感じています。今後は、学生とかかわっていき、もう一度自分自身を振り返り、今迄の自分よりリソースアップでも前に進んでいきたいと思っています。しかし、年令を考えると早く結婚して、わが子も抱きたいと思っけています。が、なかなかいい人とめぐり逢う事ができないでいます。最後になりましたが、諸先生方及び卒業生の皆さん、お互い健康に気をつけて毎日を送っていきましょう。

第1看護科 竹元真由美 (英田郡)
第5期生 作東町
 皆様お元気ですか。私が来業してもう六年目になります。卒業後は、三年間病院で働いていましたが、平成元年より県北の養護老人ホーム作東寮に勤務しています。作東寮の入所者は養護六十名、特養四十名です。が、養護でも高齢者で九十代の方もいます。看護婦は二名、医師は週一回の診察が決められています。常時医師のいない所で終末を遺る方、骨折、脳卒中の発作等いろいろな事があり、責任が重く感じる事もあります。が、治療ばかりが中心でないのが本当の看護婦の仕事が出来る所ではないかと思っています。

第1看護科 松本由美子 (広島県)
第6期生 (旧姓 児玉) 三次市
 同期生の皆様並びに学院の先生方御元気ですか？私も学院を卒業し四年四ヶ月が過ぎました。皆さん動統五年目となり、各病棟でも重要なポストを任されている人も多いことでしょう。私は二年二ヶ月で結婚退職し、その後、主人の転勤で各地を転々とし、結婚二周年にして、なんと三軒目の住宅に住んでいます。その間、看護婦以外の仕事に二度就きました。「私は看護婦」と胸を張っていても、看護婦以外では、ただの素人で簡単に思えていたお茶くみにも神経をすり減らしたりしました。目からうるろろが落ちた様で、いい経験だったと思います。4/29に長男を出産し、ただ今、孤軍奮闘しています。在学中より、母性をほとんど感じさせなかった私の出産に驚かれます。と思います。早くも親バカで、テレビや雑誌に出るほどの赤ちゃんよりも、「うちの子」が一番かわいいと思っけています。女性が仕事を続けたい上、最大のネックとなる結婚・出産・育児が訪れる年齢に突入しています。皆さん頑張ってください。私も一日も早く復帰できる様に頑張ります。又、会いましょうネ。

第1看護科 森本 理絵 (岡山市)
第7期生
 毎日暑い日が続いていますが、いつも元気な学院の皆様、又卒業生の皆様は頑張っています。皆様は頑張っています。私は、やっと助産婦二年目に入りました。まだまだお尻に殻のついたひよこのような感じですが、でも看護の仕事ってすごいですね。ことに、母性は、出産・育児・結婚、老後まで女性も含め人間の一生にかかわってしまします。それだけに責任重大

// でも気負うことなくリードに応じて患者さん達とともに喜び、悩み泣いているという何とも庶民的な私です。さあ、明日の日本の母達の為に今日も頑張ろう！

第1看護科 宮本 禎子 (徳島市)
第8期生
 学院の諸先生方、同窓生の皆様お元気ですか。早いもので卒業し就職して二年余過ぎました。ちらほらと同窓生も結婚しましたとか、この春赤ちゃんが産れたのなど祝報を耳にしますが、私は当分独身貴族が続きそうです。

現在私は精神科単科の病院に勤務しています。思春期の子供たちからお年寄りまで様々な患者さんが療用しており、発病当初の精神症状から合併症まで幅広い知識技術が要求されます。それに加え、「一心の病」を看護してゆく上で、看護者の人間性そのものが問われます。まだまだ知識、人間性共に未熟な私ですが、患者さんにも真剣にとり組むことで、患者さんにも通じるのではないかと頑張っています。

同窓生の皆様も、この二年間で素晴らしい成長したのと思います。また共に語りあえる日を楽しみにしています。最後になりましたが皆様の御健康と御活躍を心よりお祈りしております。

第1看護科 佐藤 由美 (山口県)
第9期生 大和町
 私は就職して二年目に入りました。私の病棟は、高齢者、寝たきり患者が多く家族の受け入れの難しさを感じています。まだまだ未熟者で先輩看護婦さんから助言されたながら、先生から注意、教えられながら、学ばせながら、忘れず、常に「患者中心」という言葉を忘れずに、その患者の家族にも気を配り毎日の看護に頑張っています。

